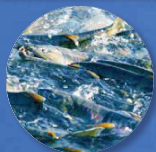


知床

Shiretoko



サケ科魚類

9月下旬～11月上旬にかけて、サケ科魚類の大群が産卵のために川を遡上する。海と陸の生態系を繋ぐ特徴的な種。



トド

知床ではスケウダラなどを食物資源にしている。知床半島沿岸海域に來遊するトドの多くはメスを中心とした100頭規模の群れて、ロシア周辺海域で交尾、妊娠した個体が出産のために栄養を蓄えにやって来る。

* 環境省版レッドリスト

絶滅危惧ⅠA類 (CR)
ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
絶滅の危険が増大している種

知床半島は北海道の北東部に位置し、火山活動などによって形成された標高1,500m級の急峻な山々、切り立つ海岸断崖、湿原・湖沼群などにより構成されています。世界遺産登録区域はこの知床半島の中央部から先端の知床岬にかけての陸地と、その周辺の海を含む約71,100haの地域です。



知床羅臼ビジターセンター

羅臼側の玄関口として自然、文化、利用等に関する情報を展示・解説する。野生生物に関する調査や鳥獣保護の拠点としても重要な役割を果たしている。1983年環境省設置、2007年移築・建替。



知床世界遺産ルサフィールドハウス

知床半島先端部の自然の素晴らしさ、知床の海と陸の生態系のつながり、人々の生活と密接に関わってきた知床の「海」の価値を伝える。ルール・マナーのレクチャーも行う。2009年環境省設置。

ホエールウォッチング

主にミンクウジラ、ツチウジラ、マッコウウジラ、シャチ、イイルカ、カマイルカ、ネズミイルカなどが確認される。ミンクウジラやシャチは5～6月頃、マッコウウジラは8～9月頃が観察のピーク。



羅臼湖

知床半島最大の湖沼。羅臼湖周辺はダケカンバ、トドマツの深い原生林の合間に、湿原や雪田が点在し、チングルマ、エゾコサクラなどの高山植物が季節ごとに異なる表情を見せる。羅臼湖に至るトレッキングルートは、登山同様の装備と経験が必須。

サシレイ岬

▲ トツカリムイ岳 561m

▲ 知床岳 1254m

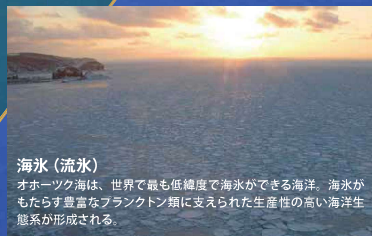
▲ ポロモイ岳 992m

ペキンノ鼻

▲ アウンモイ川

▲ ボロモイ川

世界自然遺産の登録区域
A 地区：厳正な保護管理を回る地域
B 地区：自然環境の保全を基本として利用との両立を回る地域



海水（流水）

オホーツク海は、世界で最も低緯度で海水ができる海洋。海水がもたらす豊富なプランクトン類に支えられた生産性の高い海洋生態系が形成される。



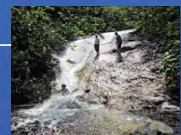
硫黄山

羅臼岳とともに知床半島の活火山の一つで、高純度の溶解硫黄を大量に噴出する世界的にも特異な火山。標高1,562m。



オオワシ

ロシア極東部だけで繁殖する大型のワシで、全世界で5,000羽程度と推定されている希少な鳥。知床半島では、一冬に2,000羽以上が越冬した記録がある。
* 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



カムイワッカ湯の滝

水が硫黄分を含むことからアイヌ語で「神（廣）の水」の意味を持つ。川全体が温泉のようになっている。適切な装備があれば沢登りも楽しむことができる。



オジロワシ

ユーラシア北部に広く分布し、知床半島でも繁殖する。豊富な餌資源のある知床は、世界有数の高い密度で営巣が行われる重要な繁殖地である。
* 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



シレストコスミレ

知床と択捉島、国後島だけに分布。シレストコスミレ群落は、硫黄山・東岳・知床別岳・南岳の火山荒原と遠音別岳・知西別岳間の鞍部の風衝荒原に見られる。



シマフクロウ

世界最大のフクロウ。種レベルで全世界に1,000羽程度しか生息していない希少な鳥。北海道全体で165羽程度生息し、世界自然遺産地域にはその4分の1程度が生息すると考えられる。
* 絶滅危惧ⅠA類 (CR)



羅臼岳

知床半島にある火山群の主峰及び最高峰で標高1,661m。日本百名山のひとつ。登山には十分な装備と経験が必須。



フレベの滝

垂直に切り立った約100mの断崖の割れ目から地下水が流れ落ちる滝。地元では「乙女の涙」という愛称で親しまれている。



海食崖

知床半島では、火山活動と海食が組み合わさることによって、断崖絶壁が作られた。特にウトロ側の海岸線は、最高200mの高さにもなる断崖が続き、さまざまな滝や奇岩が見られる。



ヒグマ

知床半島は、世界有数のヒグマの高密度生息地域。海岸や高山の草本、森の木の葉、川にのぼるサケマスなど、森と海の恵みの両方を利用できるため、90種以上を食物資源にしている。



エゾシカ

ベトナムから極東アジアにかけて広く分布するニホンジカの1亜種。ニホンジカでは最も大きい。近年、個体数が増加しており、森林や草原の植物への食害をもたらしている。



※ 注意
冬季は、知床横断道路が冬期全面通行止めとなるため注意が必要です。